



# 第88期 第2四半期株主通信

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

株式会社 東京精密

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。第88期第2四半期(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の内外経済情勢は、米国における雇用や不動産市場などの回復の遅れ、日本における円高影響による輸出伸び悩みなど、先進国においては不透明な景況が続きましたが、中国・インドなど新興国の内需拡大による高い経済成長に牽引され、総じて回復基調を辿りました。

半導体製造装置部門では、スマートフォン(高性能携帯電話)、タブレットPCなどの需要増加を背景に半導体メーカー各社の設備投資が活発化したことから、検査工程向け、組立工程向けとともに、東南アジア、台湾、韓国などでの受注・売上が堅調でした。その結果、同部門の受注高は198億200万円(前年同期比188.1%増)、売上は167億300万円(前年同期比140.7%増)、営業利益は16億9900万円(前年同期は△21億1200万円)となりました。

計測機器部門では、計測機器事業の主要ユーザーである自動車関連業界や工作機械業界において、中国等アジア新興国主体に市況が堅調に推移し、設備投資も回復を続けております。また、国内においては航空機やエネルギー産業向け、官公庁や中小企業向けの増強などに注力しました。その結果、受注高は79億2900万円(前年同期比96.2%増)、売上は68億3200万円(前年同期比51.0%増)、営業利益は16億9900万円(前年同期比928.6%増)となりました。

以上より、全社の第2四半期連結業績は、売上高235億6200万円(前年同期比105.3%増)、営業利益29億7100万円(前年同期は△19億8800万円)、経常利益22億5300万円(前年同期は△23億8400万円)となりました。

三鷹旧本社売却に伴う特別利益8億7200万円、投資有価証券評価損4億9300万円を計上した結果、税引前四半期純利益は26億3100万円(前年同期は△21億9800万円)、四半期純利益は23億8800万円(前年同期は△38億1500万円)となりました。

なお、当連結会計年度より、収益計上基準において半導体製造装置本体の全て及び設置を伴う計測機器本体について設置完了基準を適用することとした結果、従来の方法による場合に比較して、当第2四半期連結累計期間の売上高が2億7300万円、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ1億900万円減少しています。

配当につきましては、連結業績、財務状況、事業拡大のための投資および株主様との長期的視点等を考慮し決定しております。当期につきましては5月に発表した通り、中間配当金は一株当たり5円とさせていただきます。又、今般、期末配当金の予想額を一株当たり5円とさせていただきます。何卒ご理解のほどお願い致します。

株主の皆様方におかれましては、今後とも倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長

藤森 一雄

## 会社概要

商号	株式会社 東京精密 (TOKYO SEIMITSU CO., LTD.)
設立	1949年3月28日
資本金	10,204,563,463円
証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
会社が発行する株式の総数	110,501,100株
発行済株式の総数	41,245,581株 (うち、自己株式数31,693株)
株主数	31,547名
役員	代表取締役社長 藤森 一雄 代表取締役 太田 邦正 取締役 梅中 茂 取締役 ウォルフガング ボナツツ 取締役 吉田 均 取締役 木村 龍一 取締役 川村 浩一 取締役(社外) 木村 英紀 監査役 澤田 栄夫 監査役(社外) 高田 宥 監査役(社外) 大井 弘雄 監査役(社外) 菊池 克治

従業員数 564名(単体) 1,047名(連結)

主要取引銀行 みずほコーポレート銀行 大手町営業部  
三井住友銀行 本店営業部  
みずほ信託銀行 本店営業部  
三菱東京UFJ銀行 新宿中央支店  
商工組合中央金庫 東京支店  
常陽銀行 土浦支店  
筑波銀行 本店  
八千代銀行 本店  
りそな銀行 吉祥寺支店

(2010年9月30日現在)

国内拠点	業務会社 東京都八王子市 半導体社 東京都八王子市 計測社 茨城県土浦市 半導体関連営業所 3ヶ所 計測関連営業所 14ヶ所 グループ会社 17社 9拠点
海外拠点	北アメリカ 4ヶ所 ヨーロッパ 4ヶ所 アジア 17ヶ所

### 株式の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト	4,914	11.9
信託銀行株式会社(信託口)		
財団法人精密測定技術振興財団	1,058	2.6
株式会社ツガミ	1,033	2.5
日本トラスティ・サービス		
信託銀行株式会社(信託口)	942	2.3
野村信託銀行株式会社(投信口)	856	2.1
株式会社みずほコーポレート銀行	840	2.0

### 所有者別状況

(株式数比率)



- 個人：49.1%
- 国内法人：13.9%
- 海外法人：7.6%
- 金融機関：29.4%

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当	3月31日
基準日	(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月中
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主お手続き お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部 TEL: 0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告(ホームページ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

TOKYO SEIMITSU  
http://www.accretech.jp

四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年 9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3月31日)
(資産の部)		
流動資産	47,402	41,703
固定資産	26,139	27,782
有形固定資産	16,676	17,466
無形固定資産	2,131	2,420
投資その他の資産	7,331	7,894
資産合計	73,542	69,485
(負債の部)		
流動負債	19,408	15,709
固定負債	12,606	14,725
負債合計	32,014	30,435
(純資産の部)		
株主資本	41,614	39,294
資本金	10,204	10,198
資本剰余金	21,222	21,216
利益剰余金	10,295	7,987
自己株式	△ 107	△ 107
評価・換算差額等	△ 224	△ 390
新株予約権	137	146
純資産合計	41,527	39,050
負債純資産合計	73,542	69,485

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成21年 4月 1日 至平成21年 9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年 4月 1日 至平成22年 9月30日)
売上高	11,476	23,562
売上原価	10,762	16,469
売上総利益	714	7,093
販売費及び一般管理費	2,702	4,122
営業利益又は営業損失(△)	△ 1,988	2,971
営業外収益	425	154
営業外費用	821	872
経常利益又は経常損失(△)	△ 2,384	2,253
特別利益	186	872
特別損失	—	493
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△ 2,198	2,631
法人税、住民税及び事業税	166	211
法人税等調整額	1,450	32
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 3,815	2,388

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成21年 4月 1日 至平成21年 9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年 4月 1日 至平成22年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 572	3,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 67	869
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,200	△ 2,098
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△ 127
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 6,827	1,875
現金及び現金同等物の期首残高	17,586	12,140
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,758	14,016

製品情報

計測

大型真円度・円筒形状測定機

**RONDCOM GRANDE**

大型・重量ワークを高精度で測定可能な  
テーブル回転型真円度・円筒形状測定機

新開発の高精度エアベアリングを採用し、風力発電用、大型工作機械用の高精度ベアリング評価に最適です。また、フレキシブル R 軸の採用により、小径～大径まで幅広い測定径に対応しています。



半導体

ウェーハプロービングマシン

**FP 3000**

チップ(完成品)を測定可能にするプローバ

FP3000は、最上位機種種の UF3000EX のプラットフォームをベースに、ダイシング済みウェーハ、薄いウェーハ、MEMS ウェーハなどのダイシングフレーム上のデバイスが測定可能で、後工程でも使用可能なプローバです。

